

田上町 議会だより

第90号

■平成23年7月22日 発行



▲ 護摩堂山のおじさい

6月定例議会、陳情	2~3P
一般質問	4~15P
付託案件審査報告	16~17P
所管事務調査報告	18~19P
議員の決意／編集後記	20P

新議会多種多様な視点で本格的にスタート
災害に強い、住みよいまちづくり等
多面的に議論



6月定例会の経過

本定例会は6月20日から24日の5日間開催されました。

本会議「初日」

- * 会期の決定
- * 諸般の報告
- * 議案の上程
- ・ 提案説明
- ・ 質疑
- ・ 各常任委員会付託
- * 一般質問5名

本会議「二日目」

* 一般質問7名

付託案件審査「三日目」

総務産経常任委員会

* 議第2号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について

* 議第3号 平成23年度田上町一般会計補正予算(第2号)議定について中

- 第一表 歳入
- 第一表 歳出の内

- 1款 議会費
- 2款 総務費(1項)
- 3款 民生費(3項)
- 6款 農林水産費
- 7款 商工費
- 8款 土木費
- * 議第4号 同年度田上町水道事業会計補正予算(第1号)議定について

付託案件審査「四日目」

社会文教常任委員会

* 議第1号 田上町条例の一部改正について

* 議第3号 平成23年度田上町一般会計補正予算(第2号)議定について中

- * 第一表 歳出の内
- 2款 総務費(2・3項)
- 3款 民生費(1項)
- 4款 衛生費
- 10款 教育費

本会議「最終日」

- * 議案審議
- ・ 委員長報告
- ・ 質疑・討論・採決
- * 発議案第1号
- ・ 農業委員の推薦について
- 田上町大字石田新田6番地 笠原幸子氏



▲2日目 一般質問

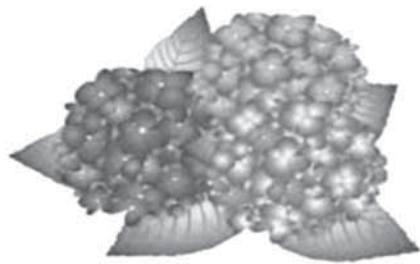
* 報第1号
・ 平成22年度田上町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

* 報第2号
・ 県央土地開発公社事業計画及び事業報告書の提出について

* 閉会中の継続調査について



◀▲2日目 傍聴席



●●● 陳 情 ●●●

番号	件 名	陳 情 者
1号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採決を求める陳情書	代表 三条市興野3丁目1番9号 新潟県教職員組合 三南支部 執行委員長 和田薫 田上班班長 米山國男



松原良彦 議員



川崎昭夫 議員

一般質問

田上町の防災組織について

問 東日本大震災において災害の恐ろしさを再認識した国民は多いと思う。しかし田上町では、これまで大きな災害は少なく、災害に対する意識が低いのではないかと思います。町が丸となる自主防災組織立上げのために、田上町としてどういう支援を行っているかお伺いします。

町長 田上町の自主防災組織の組織率は43.9%で、県平均の71.9%と比べて三割近く低い状況となっている昨年、田上町自主防災組織連絡協議会を立ち上げましたし、研修活動に補助金を出す制度も始めました。今年度も組織立上げに努力してまいります。

大災害が田上町を襲ったら

問 先の東日本大震災に関連し、町長は今後、安心・安全の町作りをどのように考えますか。ハザードマップ・指定避難所・地域防災計画等の見直しを行う予定があるか、今後の取り組みをお伺いいたします。

また、避難所等公共施設に対する耐震基準や浸水対策・通信手段の確保がされているか、併せてお尋ねいたします。

町長 地域防災計画の策定にあたっては「最大震度7」を想定しております。次に、避難所と役場の連絡の確保は大丈夫かとの件ですが、電話が使用できなかった場合は、災害情報

いじめについて

問 田上町の子どものは田上町でと、町ではキャリア教育推進協議会が発足しましたがこの素晴らしい企画推進の裏でいじめという大きな問題が田上小学校、羽生田小学校で1、2件発生しています。この発生は何時ごろですか、又、これに対する対策をお聞かせ下さい。

教育長 発生は昨年度1年間の件数です。全体的に「深めよう絆県民運動」を展開しております。いじめ根絶や見逃しゼロをスローガンに田上町でも取り組んでおります。トラブルを早期に見出し、きめ細かな実態把握のための相談指導体制の再点検について指導しております。

障がい者施設について

問 現在田上町には障がい者施設は「あじさいの家」だけです。その他小規模作業所として「やすらぎの家」がありますが、正式の施設ではありません。このやすらぎの家で実施されている販売活動、農園運営の実績を基盤として、就労継続支援B型の施設に、又将来的にはグループホーム、ケアホームの立上げが必須の課題だと思えます。町の取組みを伺います。

町長 やすらぎの家は、障がいの自立と社会参加の促進を目的に障がい者ふれあいセンターとして建設したものです。今後やはり社協と十分話し合

良質米生産に向けて

提供に協定を締結している。日本アマチュア無線連盟新潟県支部田上クラブの協定をい

問 平成二十二年度産米JA田上に出荷のコシヒカリ・こしひぶきの検査結果、一等米比率が非常に悪く(全体等級で二等米6.18%・二等米92.96%)、町としても原因の究明、今年度の対策を周知するなりして、JAに依存することなく、町としても良

質米生産に向けての情報を発信してまいります。また、今年度につきましては昨年の異常気象を踏まえ、適切な技術指導を行っており、一等米比率向上に向けて努力しております。



▲一等米作りを目ざして

農機具購入補助について

問 兼業の中小規模農家に対しても田上町独自の機械補助金を創設できないかお尋ねいたします。

町長 町が公費で補助することになりますと何でも良いと云う訳にはゆきません。耕作面積・農業日数・経営状況等と

いという形で運営するかあるいは資金をどうするか等についても、社協と十分検討してまいります。



▲小規模作業所「やすらぎの家」



渡邊正策 議員

町としての節電対策会議は現在開催しておりませんが、庁舎内、出先機関も含め、早急に検討して行きたいと考えております。

町長 商工会のエコ推進、各種施策等の展開にも共同歩調で最大限努力して参ります。

町長 商工会では、町民にエコに関する情報提供や啓蒙普及に取り組んでおられます。町としても積極的な支援と、施設設を対象に年間電気料約5千4百円程度の低減活動に、省エネ効果の高いLED照明の採用で目標20%削減を掲げ推進する事を提案致します。

再生可能エネルギーと若者への優遇支援導入の企画推進提案に決断と実行を

町長 庁舎・出先機関の屋根に、太陽光発電を導入する事で、エコ輝く町たがみを強調し、若い世代を引き寄せることが期待できると考えます。5カ年計画で企画推進する事を提案します。

(左表私案1参考)

(私案1) 《第1次5ヶ年計画》を企画し再生可能エネルギーシステム導入、エコ輝く町たがみを強調、若い世代に他とは違う優遇支援を取入れ、人口減少対策の促進を図る。

- 再生可能エネルギー 太陽光発電システムの導入

◎設置規模=毎年総計60kwh規模を5ヶ年間継続、合計300kwhを設置する。

設備 (kwh)	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
	企画設計	新規	企画設計	新規	企画設計	新規	企画設計	新規	企画設計	新規	企画設計	新規
継続	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
新規	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
累計	60	120	120	180	180	240	240	300	300	300	300	300
- 設置場所 ◎役場庁舎、竹の友幼稚園、湯つ多里館、排水機場、小・中学校、田上工業団地、など29施設検討
- 投資額 ◎年間40,000千円で国からの補助半額 (20,000千円) の事業支援を受ける。(国の事業詳細要調査)
- 太陽光発電の付加価値試算

◎5年間の累計で、発電量が約960,000kw、発電料で約46,000千円が概算見込める。

発電 (kw) 生産額 (千円)	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
	企画設計	発電	企画設計	発電	企画設計	発電	企画設計	発電	企画設計	発電	企画設計	発電
継続	64,000	3,072	64,000	3,072	64,000	3,072	64,000	3,072	64,000	3,072	64,000	3,072
新規	64,000	3,072	128,000	6,144	192,000	9,216	256,000	12,288	320,000	15,360	384,000	18,432
計	64,000	3,072	192,000	9,216	288,000	12,288	384,000	15,360	480,000	18,432	640,000	21,504
累計	64,000	3,072	192,000	9,216	384,000	12,288	480,000	15,360	640,000	21,504	960,000	33,024

町長 これからも日本の人口は減少傾向にある中、人口増加対策に取り組んでいる自治体では、他の自治体より優遇される支援策で人口減少や少子化に歯止めをかけていく、また人口流出を防ぐだけでなく、転入者増加も図り、税収増加

町長 田上町へ転入定住してくる若い既婚世代と婚姻後も町内に住む若い世代へは、他自治体とは違う差別を付けた優遇支援で、人口減少・人口増加対策を5カ年計画で実施する企画を提案致します。

(下表私案2参考)

(私案2) ☆平成16年度以降、過去8年間の人口状況は861人の減少、年間平均108人の減少。第1次5ヶ年計画を企画し、若い世代に他とは違う優遇支援で人口減少対策を図る。

- 田上町へ転入定住してくれる、子供を持つ若い世代への優遇支援

◎田上町へ転入定住する者への優遇支援事業の取組み ◎目標=年間30組程度(5年間累計450人の転入増)

5年間の状況	年度別の状況					年間目標	増減	平均	人員数
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度				
婚姻組数	68	59	49	55	51	56.4	→	30	86.4
年度別0歳の人口数	73	94	73	73	70	76.6	→	30	106.6

[注]婚姻組数=婚姻前から町内に住所があり、婚姻後も町内に住所をおいた組数
- 優遇支援の施策

◎転入時祝金の贈呈 50千円の実施(新築転入者へも相当支援とす)
◎家賃の補助を5年間継続、月額10,000円支援する(新築転入者へも相当支援とす)
- 町内未婚者への支援

◎結婚組数の年間平均56組を、年間目標を60組とす。
- 優遇支援

◎結婚組数に、結婚祝一時金 100千円の贈呈

優遇支援額	年度別の状況					合計	[注]応募者が少ない場合は支援額も減
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
優遇支援額	11,100	14,700	18,300	21,900	25,500	91,500	

◎太陽光発電生産額 3,072 6,144 9,216 12,288 15,360 46,080 [注]応募者が少ない場合でも財源は継続延長する

◎経費の削減 10,000 10,000 10,000 10,000 10,000 50,000

◎財源計 13,072 16,144 19,216 22,288 25,360 96,080

提案に付いては、財政的に難しい面もありますが、今後少子化対策検討委員会の中で十分参考にして、検討していきたいと考えています。

町長 おそらく来年度以降は、国からの交付金や地方交付税にも大きな影響を及ぼすことは否定することはできませんので、町づくり財政計画の影響は避けられない状況だと考えております。

健全財政を基本に、財政調整基金残高を考慮しながら、一方では優先順位を見きわめながら町民要望にこたえていきます。事業予定年度の見直し、あるいはさらなる先送りといった可能性も考えられますので、ご理解をいただきたいと思っております。



▲東日本大震災の被災現場



池井 豊 議員

2011年 田上町議会 議員選挙を総括して

町長 今回の町議会議員選挙を総括して田上町長としての所感をお聞かせ下さい。

町長 東日本大震災により自粛ムードの中、街宣車自粛と言うこともありました。

町長 これからの選挙活動のあり方はどう有るべきかお考えをお聞かせ下さい。

町長 今回選挙の投票率は64.92%でございました。以前は80%以上でした。残念ながら、いろんな要素がありまして、やはり無投票ではないのか、あるいは欠員が生ずるのではないかと、このようなこともありまして、また報酬が少ないので、

議会改革の必要性について

議員になりたいという人が少ないというようなこともあるいはあるかもしれません。少し選挙離れになったのは残念なことではありますが、やはり今後十分に町の議会に、町政に関心を持っていただけるように努力していきたいと思っております。

町長 今回の改選により改革派の議員も多く当選しました。通年議会・議会開催回数(委員会・全員協議会含む)・議員発議の条例提案・新しい議会ルールの模索など広い意味での議会改革は必要と思われるか。町長の所感だけを伺っていきます。

これからの財政運営について

町長 議員の皆さんで議論されまして改革をしていただければよいのではないかと思っております。私も執行側も機構改革をしているわけでありますが、やはり機能的に活動できるような組織ということが必要ではあると思っております。

町長 東日本大震災を受けて、被災地域に重点的に財政措置されて行くと思われれます。そんな中、「交付税は今までどおり来ると予測しているのか」「町財政計画を遂行する上で影響が出るかと予測しているのか」をお聞かせ下さい。



熊倉正治 議員

町長 地域防災計画は平成11年に抜本的に修正し、その後毎年見直しをしております。原子力災害対策に関することは策定していませんが当然必要であります。



皆川忠志 議員

第5次総合計画は具体的に

問 第4次総合計画のテーマは分かり難く、町民の皆さんに理解されていません。第5次はもつと戦略的、具体的にすべきではないでしょうか。また、総合計画は10年スパンと設定するのですか。

町長 第4次総合計画のテーマは、町民の皆さんが要望している住みよい町づくりに尽きません。いずれにしても、テーマは審議会等で参考にしながら議論していきたいと考えております。また、計画の10年スパンは長いと思っており、審議会でも検討していきます。

職員の更なる活性化を

問 役場は、町内最大のサービス会社であり、職員の更なる活性化が町全体を明るくするものと考えます。スキルアップ中心の研修から、他業種への派遣研修を通じ、民間感覚を身に付け、目的意識を持って業務を遂行して欲しいと考えますが如何でしょうか。

町長 役場は、最大のサービス機関であり、接遇態度で町民の目線に立つことが最も大切であります。不満ではありませんが少しは良くなったかなと思っております。他企業研修については、非常に参考になることであれば、庁議の中で充分検討していきます。

今こそ業務の見直しが必要

問 東日本大震災の影響と經常収支比率の悪化もあり、効率的町政が出来ないのではないのでしょうか。将来に向かつての財政の健全化のため、業務の見直し、棚卸しをすべきではないでしょうか。

町長 財政健全化方針を基本に、既存事業の見直しを実施しつつ適切な行財政運営に努めてきました。五明寺トンネルも財政負担増から止めたところであり、業務の見直しは大切であると肝に命じております。

自主防衛組織の位置付けを

問 自主防災組織の設置が進んでいませんし、町の防災計画に明確な位置付けがなされていません。早急に「田上町地域防災計画」を見直し、自主防災組織の在り方を明確にすべきではありませんか。

町長 毎年の区長会議の場でお願しておりますし、これからは防災に対する意識を町民にしっかり啓蒙していくことが課題であると考えております。また、自主防災組織については、町の防災計画の中では記載しておりませんが、消防団の活動と重ねながら各地域で対応していくことが基本であると考えております。

一般質問

東日本大震災に関連して

問 東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故は、今現在でも収束のめども立たない状況にあります。柏崎刈羽原子力発電所を有する新潟県において、田上町においても「原発事故」に対する地域防災計画の見直しや原発事故に対する対応方針を定める必要があるのではないのでしょうか。

町は柏崎刈羽原発から半径50キロ圏内に位置しており、事故が発生した場合は屋内退避区域に指定されております。県防災局では地域防災計画の原子力災害対策の見直しに向けた整理をしているので、県の見直しが終わった時点で、町に協議があることになっております。県の見直しが終わった時点で準拠する方法で対応していきます。

国土調査法に基づく地籍調査事業の推進について

問 地籍調査事業は、最近国県が調査を推進する動きになっているが、町においては事業着手されていません。この事業は土地を一筆ごとに測量、調査を行って境界を確定していく、それを町全体に行っていくもので、国県の補助もあり町の実質の負担は5%と言われています。町のインフラ整備等の事業では土地問題は必ず出てくる問題であります。事業化すべきと思いますがいかがでしょうか。

町長 地籍調査が行われることにより、様々な行政事務の基礎資料としての必要性は十分認識しています。境界立会、地元との調整、法務局との調整、相続問題など様々な問題も存在している、職員の実施体制の検討も必要であります。国県の補助がある事業ではあるが、町財政も考慮しながら十分検討して一定の方向づけをおこなって、できるだけ早い時期に事業化してまいります。





橋 一春 議員

グループホーム施設を整備する事で現在の特養あじさいの里に新たに入所者の受入れも可能になります。また民間の資本・民間の力をもっと有効に活用することも必要ではないか、ついて



有川りえ子 議員

防災に強いまちづくり 関連

問 中小河川の改修と側溝の改修状況の計画及び実行に対する基準や選定方法を具体的に示してください。防災備蓄品の状況と見直しについてと自主防災組織について未設置地区の皆様に対してどのように支援策はありますか。

町長 町管理の中小河川改修については、そのほとんどが現国道403号線やJR信越線の横断箇所の問題があります。地域の皆様に被害が出ないように対策を講じております。側溝排水対策につきましても、

介護保険事業の 五次計画について

問 認知症の人達の共同生活施設のグループホームは、当町に施設が無いことが問題です。認知症は専門のケアをする事で症状に改善が見られる事例が多く報道されています。特養のあじさいの里に50床のベッドがありそのうち37名の方に認知症の症状があります。現状では通常の介護を受けています。グ

は、五次計画にグループホーム等の取組みについての考えをお伺いします。

町長 居宅介護保険施設の利用率を高めるためにも多機能型や密着型が必要であると思っております。事業者の参画を期待している、又、今グループホーム18床の建設の申し出があります。

問 サービス付き高齢者向け福祉住宅の整備事業の取組みについてお伺いします。

町長 田上町も高齢者が増えるので整備に参加する民間事業者が出てくれる事は、田上町も望ましい事と思えます。



各行政区の要望に沿いまして緊急度に応じて年次ごとに布設替えを行っております。避難所や防災備蓄の内容については、国及び新潟県の考え方を基本として見直しすべきところは見直していかなければいけないと考えています。自主防災組織の未組織地区における今後の支援については、区長さんをお願いするというのが今の現状です。できるだけ早く各地区で立ち上げていただきたい。

女性 消防団について

問 7月1日誕生予定の女性消防団員の果たすべき役割と任務についてお答えください。

町長 時代に即した新しい消防団としてその活動に女性の能力を活用することが女性広報班の趣旨であります。主な活動内容につきましては、大人から子供までの効果的な火災予防活動として期待しているところであります。



やすらぎの家の 運営について

問 「よつばの会」の総会に参加したの中で、職員の処遇を含め、社協と田上町で早急な今後の運営をどうするか決める必要があるかお伺いします。

町長 社会との交流促進等の便宜を図る施設である地域活動支援センターの指定を受けて運営する事が望ましい、現在今後の運営について社協と話し合いを進めています。

問 障がい者のショートステイについてお伺いします。

町長 利用者と事業者の契約で利用できるが、利用者の細

生涯学習センター 建設について

問 生涯学習センター施設の必要性、緊急性、利用できる人の構成など、震災後の現状を踏まえた上でこれまでどおりの方針でよいのかどうか、町長の率直なご意見を伺います。

町長 建設の詳細につきましては今のところ何も決まっていないながら建設費が10〜12億円程度のもが必要であろうと、想定しているところであります。国、県の財政状況の変化によりまして建設予定年度の見直しの可能性も十分考えられますので、ご理解をいただきます。

企業育成と 新規参加事業の 支援について

かい状況を事前に施設相談し早めに利用手続を行い希望する施設を確認していただく事をお願いしています。

問 金属ゴミの収集運搬を田上の事業所へ委託してはどうかお伺いします。

町長 町の許可申請をしている事業所は8社、より安定した処理能力等を考慮の上、選定しています。



川口與志郎 議員

町長 御承知のように新潟市もベッド数を千ほど増やしましたが、田上として県の助成金、経営法人の協力、介護保

町長 現在、田上にある特養は「あじさいの里」二つだけで田上の入所者は34名です。受入れ体制がたりません。民間の施設に入つておられる方は、月15万円前後の費用が掛かります。特養の増設が必要と考えますが如何でしょうか。

問 特養の入所を希望しながら待機している人は138人です。要介護3から5までの人はそのうち102名おられます。全体の19名は一人暮らしで、高齢者だけの世帯は7世帯です。

特別養護老人ホームの増設について



▲特別養護老人ホームあじさいの里

険料、町の負担等の関係を考えて研究をしていきます。

住宅リフォームに対する補助金の制度について

問 住宅を修理、増築をするとき、工事費20万円以上の物に補助率10パーセント、上限額20万円の補助金を出す補助制

町民の健康と命を守る最後のセーフティネットについて

問 田上町の問題は、国民健康保険税が他の市町村と比較して高いことにあります。年間

町長 他の市町村の状況や効果を十分研究していきたいと思っております。耐震リフォームにつきましては現在6人の方の申し込みがありますが、この制度を利用するという方は是非使ったいただきたいと思っております。

度を設立できないでしょうか。田上町にも限度額65万円の「木造住宅耐震改修」の補助制度があります。多くの人に使ってもらおうよう対策を立てていただきたいと思っております。



その他7項目について質問

その他7項目について質問。

- 待機児童 病後児保育について
- インフルエンザワクチンの集団接種について
- ファミリーサポートセンターの設置について
- 子育て支援センターの午後の開放について
- 竹の幼稚園の保育士の雇用形態について
- 本田上工業団地について
- 湯つ多里館について

一人当たり1万円引き下げることによって滞納も減らせます。何か方法を検討して下さい。

町長 厚生労働省は国保制度の問題点を構造的な問題と分析しております。国保財政の市町村支援は限界にきているということでもあります。厚労省は新たな国保財政基盤強化策の策定の検討に入るとのことですので、一般会計からの繰り入れは難しいことと考えております。

少子化対策委員会の取組について

問 少子化対策委員会が設置されてから3年経過します。この間の具体的な協議内容を伺います。また、具体的な目標人

町長 議会後の庁議にて、まずはいつまでにニーズ調査し集約するかを検討していきます。

問 ニーズの把握の為にニーズ調査をしますか。

と考えています。過去においては、ホームステイなどへの補助や姉妹都市提携の町民ニーズを十分に把握していなかったが、今後そのような機運が高まってくればその必要性を検討したいと考えています。

口、出生数、出生率など設定していますか。

町長 検討委員会は開催されておりませんでした。また、具体的な数値目標を定める事は設置要綱の中で規定はされておりませんが、具体的な少子化対策をしっかりと作る必要があると考えております。

問 民間でも目標なくして行動はできません。まずは目標数値の設定をする必要があると考えています。子育て世代が『時間的余裕』『経済的余裕』この2つがなければ子供を産み育てる事はできないという事をしっかりと認識して頂きたい。議会後の庁議での検討結果の報告を求めます。

一般質問

今井幸代 議員

ホームステイの公費補助、国際姉妹都市提携について

問 国内大手企業が社内の公用語を英語に定めたり、新卒採用の外国人採用枠の大幅な増加など今後ますます国際的な共生、競争という時代を迎えます。グローバル化が進む中で、早期からの異文化対応能力、語学力、コミュニケーション能力を育てていかなければなりません。その為にも実際の国際交流が必要ではないでしょうか。その為のホームステイの公費補助、姉妹都市の提携をどのように考えますか。

町長 語学だけでなく異文化もあわせて学ぶ必要がある



浅野一志 議員

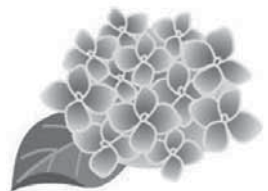
町長 「きずな」が町内全戸配布になっていますので、現状ではこれで十分ではないのかと思っています。

問 田上町のホームページは2004年6月に開設されました。ホームページ作成にはHTMLと呼ばれる言語の知識が必要ですが、現在ではワープロ感覚で記述可能なブログもあります。「きずな」の「町長室の窓から」をブログとして、公開してみてもどうでしょうか。

「町長室の窓」 ブログ化は 町長宛メールは

問 田上町のホームページには、「町長への便り」のページがあります。ここに文章を入力して投稿すると、町長にその内容が伝わり、町長の回答が届くようになっていきますが、直接町長宛に電子メールを送ることはできるのでしょうか、また、町長は自分で電子メールへの返信は可能でしょうか。

町長 田上町のホームページ中にある「町長への便り」に投稿していただければ、その返事を直接返信することになっていきますので、あえてメールアドレスをもっていないメールアドレスを持ってしまおうと、いろいろなこと入って来ますので、その対応が大変になります。



町長 メールアドレスに何も書かない空メールを送っていただければ、申込みを受けたことになり、特別な操作は要りません。したがって、今現在講習会の開催は考えてはおりません。

行政情報の メールサービスの ための講習会は

問 行政情報の携帯電話によるメールサービスが2008年から行われています。しかし、携帯電話のメールの使い方がわからない町民もおられるようですので、携帯電話会社によるメールの講習会を企画してみたいかと思いますが、いかがでしょうか。

町長 CIO、すなわち最高情報責任者の任命については、近隣では新潟市、三条市、燕市などがこのチーフ・インフォメーション・オフィサーを任命しております。しかし、加茂市とか弥彦村では任命していません。CIOを任命するだけでは電子自治体、それから行政情報化を推進できるわけではなくて、CIOを支えるための組織づくりが重要と考えております。

形だけのCIOを任命するのではなくて、まずは近隣市町村でのCIOの役割とそれを支える組織について研究していきたいと思っています。



関根一義 議員

原発! エネルギー政策の 転換を

問 福島第一原発事故は、人類が原子力をコントロールできないことを教えています。

「脱原発」は、もはや従来の「反原発」の論理を超え国民的・社会的現実味ある議論となつていきます。原発の安全神話が崩壊した事実は、従来の安全対策に安住することは許されません。

原発に依存した国のエネルギー政策を、再生可能エネルギー政策に転換すべきと考えます。

田上町は原発 50キロ圏! 原子力災害対策の 確立を

問 田上町は柏崎刈羽原発の50キロ圏に位置しています。県の地域防災計画では、原子力防災対策を重点的に実施

町長 福島原発の事故の影響から考えても将来的にはこれまでの水力発電あるいは火力発電、そして自然エネルギーに転換する必要があると思っております。

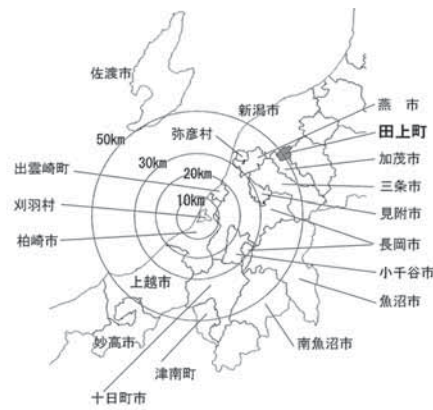
電力の供給不足は日本経済の発展にマイナスになるわけで、今後は古い原発から順次廃止し、再生エネルギーを設置していく方法がベターと考えます。

すべき地域を10キロ圏と定めていますが、福島原発事故の現状は30キロ圏の住民生活を壊滅的にし、高濃度放射線汚染は50キロ圏を超えています。これは県の防災計画を大きく超える事態であります。そこで福島原発事故を教訓に地域防災計画を次のように見直すべきです。

1. 原子力防災対策を重点的に行う地域「10キロ圏を30キロ圏に拡大し、それと連動した40キロ圏および50キロ圏対策を構築すべきです。
2. 局地的に発生する高濃度汚染地域(ホットスポット)対策を構築すべきです。
3. 柏崎刈羽原発を擁する新潟県として、市町村の地域防災計画に原子力災害対策を義務化すべきです。

先般、県の危機管理監が来町し、50キロ圏内の田上町に対し県および危機管理監の考えが話されました。その中で地域防災計画に原子力災害対策を義務化する方向や、ホットスポット対策についても触れられました。

後日、再度来町するとのことなので、その時点でも主張していきます。



▶新潟県防災会議 原子力防災部会
資料より

問 情報化戦略の立案を行うCIO的な方を任命することはできないでしょうか。

町長 CIO、すなわち最高情報責任者の任命については、近隣では新潟市、三条市、燕市などがこのチーフ・インフォメーション・オフィサーを任命しております。しかし、加茂市とか弥彦村では任命していません。CIOを任命するだけでは電子自治体、それから行政情報化を推進できるわけではなくて、CIOを支えるための組織づくりが重要と考えております。

総務産経常任委員会

■議第2号(災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について)

東日本大震災に伴う特例で、災害援護資金貸付に係る年数及び利子等に関するものです。

(質疑)

保証人は家族でもいいのですか。

(答)

生計を共にしている者は保証人になれません。

■議第3号(平成23年度田上町一般会計補正予算議定について)

歳入においては災害救助法に基づく災害救助費負担金の受け入れ、地域スポーツ施設整備助成金の不承認による減額などです。

どです。

歳出においては、総務費で上野公民館施設整備補助、民生費で避難所等に関わる施設借上料、商工費で農商工連携推進事業費補助、土木費で五明寺トンネルに関する計画変更による減額など、ほか人事異動等による減額・増額などです。

(質疑)

震災対策費の今後の見通しはどうなっているのですか。

(答)

今後まとめて示します。

(質疑)

総合型スポーツクラブの町の負担も必要になったのですか。

(答)

震災による助成率減で、受益者負担軽減のために措置するものです。

(質疑)

節電対策の取組みはどのようなものですか。

(答)

空調温度の設定、消灯など

社会文教常任委員会

議第1号 田上町税条例の一部改正について

法律の改正に伴い町税条例も改正されるもので、東日本大震災の被災者等に対する税の減免規定を条例の附則に定めたものです。

町民税の雑損控除額等の特例、住宅借入金等特別税額控除の適用期限の特例、固定資産税の特例の適用を受けようとする者がすべし申告等が、加えられた条例改正であります。

議第3号 平成23年度田上町一般会計補正予算(第2号)議定について

歳出の内、2款総務費(2項)11万9千円の増額(3項)643万2千円の減額
3款民生費(1項)29万5千円の増額
4款衛生費34万8千円の減額

10款教育費1千429万6千円の減額

補正の主な要因は4月の職員人事異動に伴う給料、手当、共済費等の人件費関係経費の増減額を整理したものであるとの説明でありました。

人件費関係の経費以外では、民生費では身障者用自動車改造費助成70万円の増額、衛生費ではワクチンの助成30万2千の増額、教育費では指定寄付金による羽生田小学校への児童図書購入100万円の増額、総合型地域スポーツクラブ活動助成57万2千円は、補助金の減額に伴い不足額を町が支援するため増額となるものであり、町民体育館事務室改修工事関係経費476万5千円は事業が不承認となったため減額するとの説明でありました。

いずれも原案可決

委員長 熊倉 正治

庁舎をはじめ各施設で対応しています。今後、節電対策会議を開く予定です。

■議第4号(同年度田上町水道事業会計補正予算議定について)

職員手当の減額に伴うものです。

いずれも原案可決
委員長 池井 豊

用語解説

委員会付託とは議会の議決を要する事件について、議会の議決に先立って詳しく検討を加えるために、それぞれ担当の委員会に審査や調査を委任し、討論の後、採決をします。



▲消防演習



▲下水道終末処理場回転円盤



▲武道場にて中学生の授業風景



▲総合型スポーツクラブヨガ教室

子育て支援センター▶



総務産経常任委員会

期日 平成23年6月9日

所管の施設の22年度事業完了状況や23年度事業の進捗状況などを調査しました。

●湯つ多里館
ボイラー・防球ネットの補修を行う予定です。24年度リニューアルに向けて準備中です。

●五明寺トンネル
6月から通行再開できます。新潟五泉間瀬線との関連で計画変更となります。

●下水道終末処理場
老朽化してきていますが、長寿命化計画により対応していきます。

●羽生田浄水場
新浄水場予定地の概略の位置が示されました。

●YOU・遊ランド
避難所運用による状態からは戻りましたが、入込み客減はつづいています。23年度予算で網戸設置・エアコン・畳の入れ替えを予定しています。

委員長 池井 豊

用語解説

総務産経常任委員会では主に、町の財政・消防・道路・上下水道・都市計画・観光・商工業・農業に関すること等を調査、審議します。

社会文教常任委員会

◆社会文教常任委員会
所管事務調査

期日 平成23年6月7日

四月の改選後、新しい常任委員会体制となり、新人議員も多いことから、所管する各課の施設設備の管理運営状況等を中心に調査を実施しました。

今年度の運営方針、現在の状況等の説明をいただき懇談を行った施設もあり、「あじさいの里」では待機者の問題、「田上小学校」では、地域の方々のふれあい集会の様子、「中学校」では、いじめの問題、「幼稚園」では新設後一年間の状況や現在の入園状況と今後の見込み、「羽生田小学校」では、電子黒板を使用しての懇談が行われました。

これからの議員活動に大変参考となる調査活動となりました。

【保健福祉課関係施設】

- ・あじさいの里
- ・ふれあいの家
- ・心起園
- ・くつろぎの家
- ・老人福祉センター
- ・やすらぎの家

【教育委員会関係施設】

- ・コミュニティセンター
- ・田上小学校
- ・田上中学校
- ・武道場、町民体育館
- ・竹の友幼稚園
- ・原ヶ崎交流センター
- ・羽生田小学校
- ・羽生田野球場

委員長 熊倉 正治

用語解説

社会文教常任委員会では主に、教育・子供・妊産婦・予防接種・障がい者・介護保険・国民健康保険・住民登録・戸籍・税に関すること等を調査、審議します。



五明寺トンネル▶



▲田上終末処理場



▲湯つ多里館



▲竹の友幼稚園の園児



▲やすらぎの家作業の様子



▲竹の友幼稚園

議員の決意



小池真一郎（町政クラブ代表）

田上町議会条例制定、本田上工業団地に企業誘致、町の自然、農業、子供達を守るために頑張ります。



関根一義（創新会代表）

変えます!! 議会
つなぎます!! 地域と行政
求めます!! 安全と平和



渡邊正策（町政クラブ）

町を自ら守る、維持す、増やすは行政の基本
①行・財政健全化チェックは町民目線で
②町の魅力づくりは再生可能エネルギー導入で
③観光の玄関口、田上駅周辺環境整備を



松原良彦（町政クラブ）

安心・安全、災害に負けない町作り
地産・地消、生産者の顔が見える、美味しい食べ物
を各家庭へ。
地域の願い、救命救急センターの設置。



皆川忠志（無所属）

「新しい風」を吹かせ、新しい「まち」をつくります。
田上町を変える第一歩を踏み出します。
町民の皆様も一緒に前へ進みましょう。



浅野一志（創新会）

今年はいろいろなことを吸収していきます。また、
インターネットの利活用を考えていきます。



樫 一春（創新会）

皆様の声を町政にとどけます。
福祉とやすらぎの住みよい町づくりのために行動
力を武器に全力で町政に努めて参ります。



泉田壽一（町政クラブ）

【政治信条】
田上町を想う心、夢、理想、現実、行動力、優しさ、
実現する強固な意志、人脈が源を形成する。



池井 豊（創新会）

・災害に強い安全なまちを創る
・安心して生活できるコミュニティを創る
・住民の声が反映できる仕組みを創る
以上、目指して頑張ります。



川口興志郎（日本共産党）

暮らし・福祉最優先の町政が行われるように
努力します。
若い人が住みよい、まちづくりの実現のために
努力します。



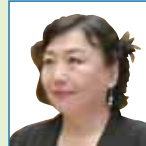
川崎昭夫（町政クラブ）

町民が主役の開かれた街づくり、児童、高齢者、
障がい者が安心して暮らせる福祉の充実、
医療、学校施設の充実にむけ頑張ります。



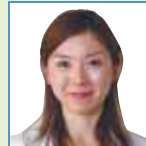
熊倉正治（町政クラブ）

国道403バイパスなどインフラ整備の推進、観光・
農商工など産業の活性化、健康・福祉・教育の
更なる充実を主張し目標とします。



有川りえ子（町政クラブ）

「防災に強いまちづくり」
「田上町産物品を東京の消費者に直接お届け
します」
「403号バイパスの早期全線開通」



今井幸代（町政クラブ）

少子化対策、高齢者福祉・子育て・教育支援の
充実と拡充、403バイパス早期完成、そして地域
の皆さんとの交流、地域のお声に耳を傾けます。

お知らせ

議事を傍聴してみませんか。次の定例会は**9月12日(月)**からの予定です。
 請願は**9月5日(月)**までに提出されたものを9月定例会で審議します。
 又、議会に対する御意見をお寄せ下さい。

編集後記

夏を迎え、護摩堂山の紫陽花は色鮮やかに咲きほころび、五社川の蜩も美しく飛び交っており、自然の素晴らしさを改めて感じる今日この頃です。

改選後初の定例会では、各議員から様々な質問がなされ、活気のある議会となりました。

また、今回から新メンバーでの『議会だより』の編集が始まりました。町民の皆さんにとって、わかりやすい広報誌になるよう用語解説など入れ、議会や町政の様子をお伝えしていきたいと思っております。

皆様に喜んで見て頂けるよう委員一同尽力してまいります。

（今井 記）

委員長 川口興志郎
副委員長 今井 幸代
委員 松原 良彦
委員 川崎 昭夫
委員 皆川 忠志
委員 熊倉 正治
委員 浅野 一志
委員 有川りえ子
委員 樫 一春